

伊豆歴史文化大学

— 特異な自然が育んだ唯一無二の歴史と文化 —



火山噴火・地殻変動の造形と古代の祭祀遺跡が残る恵比須島(下田市)

伊豆半島とその周辺は、さまざまな自然災害が頻発する一方で、自然現象がもたらした地形・景観・産物が、そこに暮らす人々に大きな恵みを与えてきました。

本講座は、伊豆半島の自然の恵みと災害の歴史を振り返るとともに、それらが地域の社会基盤や文化形成に与えた影響を最新の研究成果にもとづいて学びながら、伊豆独自の自然・歴史・文化の価値の再認識を試みます。

令和6年
9月30日・10月28日・11月25日

令和7年
1月27日・3月3日 全5回
いずれも月曜日

時間 18:00-20:00 (開場17:45)

対象者 ジオガイド、観光関係者
学生などどなたでも参加可能

参加費 無料

定員 対面20名、オンラインあり
要事前申込

会場 静岡大学東部サテライト
(伊豆市青羽根65-1) 駐車場あり

**申し込み
お問合せ** 申し込み期間
9/12(木)~各回1週間前まで
※対面は定員に達し次第締め切り
QRコードよりお申し込みいただくか
静岡大学東部サテライト
shizudaifuture@gmail.com
0558-79-3500
(平日10:00-16:00)
までご連絡ください。



テーマ・講師

※興味があるテーマの回のみへの参加も可能です。

第1回(9/30) 伊豆の海岸地形・地殻変動・考古学~能登・房総との比較
小山真人 (静岡大学防災総合センター)
伊豆半島の地殻変動史と火山活動史
宍倉正展・行谷佑一 (産業技術総合研究所地質調査総合センター)
伊豆東部の海岸地形と地殻変動
金子浩之 (伊東市教育委員会)
伊豆の古代遺跡の分布的特徴

第2回(10/28) 伊豆の歴史災害と文化・信仰(1)
小山真人 伊豆諸島における古代~中世の火山噴火史
金子浩之 伊豆半島の神社の歴史
田島 整 (上原美術館) 伊豆半島の仏像と仏教信仰の歴史

第3回(11/25) 伊豆の歴史災害と文化・信仰(2)
小山真人 伊豆半島の津波・土砂災害史
金子浩之 中世の大地震と津波—二度の巨大津波を見た北条早雲—
田島 整 伊豆の災害と河津町南禅寺の仏像群

第4回(1/27) 伊豆の岩石と歴史・文化
小山真人 伊豆半島に分布する岩石の種類と特徴
池谷信之 (明治大学黒曜石研究センター)
黒曜石からわかる古代の流通と文化
金子浩之 「伊豆石」の歴史と文化

第5回(3/3) 伊豆の海上交通と歴史・文化
小山真人 伊豆半島とその周辺地域の地形・気象・海況
金子浩之 伊豆の海上交通路—東西と南北を結ぶ海上の道—

海底火山の地層を利用して安置された観音山石仏群(河津町)





全回講師・世話人 小山真人（こやま・まさと）

静岡大学名誉教授、同大学防災総合センター客員教授。伊豆東部火山群防災協議会委員、美しい伊豆創造センター・ジオパーク委員会顧問なども務め、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの認定に貢献した。地質学・火山学・歴史地震学などを専門とし、伊豆半島とその周辺の大地の成り立ちを45年にわたって研究してきた。主な著作：「伊豆の大地の物語」静岡新聞社、「ドローンで迫る伊豆半島の衝突」岩波書店など。NHKブラタモリ「富士山」「三保松原」「浜松」「伊東」案内人



全回講師 金子浩之（かねこ・ひろゆき）

伊東市教育委員会学芸員。考古学を専門とし、古代から近現代にわたる伊豆半島の歴史にも精通する。20年以上にわたって伊東市史の編集担当を務めた。伊東市のほか南伊豆町など伊豆半島内の主要遺跡の発掘にも携わる。明応年間に相模トラフのプレート境界巨大地震があったとする「明応関東地震説」を提唱して注目を浴びている。主な著作：「戦国騒乱と巨大津波」雄山閣、「津波と考古学」雄山閣など。NHKブラタモリ「伊東」案内人



第1回講師 穴倉正展（ししくら・まさのぶ）

産業技術総合研究所 地質調査総合センター 連携推進室 国内連携グループ長。専門は地形・地質学に基づいた古地震の研究で、過去の地震・津波の痕跡を探し求めて国内外問わずフィールドワークに出かけている。平安時代の東北地方沿岸を襲った貞観津波や、房総半島・能登半島の地震隆起の研究で名高い。主な著作：「次の巨大地震はどこか！」宮帯出版社、「巨大地震をほり起こす」少年写真新聞社など。NHKブラタモリ「館山」案内人



第1回講師 行谷佑一（なめがや・ゆういち）

産業技術総合研究所 地質調査総合センター 活断層・火山研究部門 海溝型地震履歴研究グループ上級主任研究員。史料記述の解釈と現地調査・数値シミュレーションによって過去の地震の津波高さ、浸水域、地殻変動量、被害の状況、地震の規模を明らかにする研究を行っている。主な著作：「相模湾周辺における津波史料と地質痕跡から推定される歴史時代の相模トラフプレート間地震」日本地震学会誌など。



第2・3回講師 田島整（たじま・せい）

上原美術館上席学芸員。下田市・伊東市・富士市・河津町・南伊豆町・熱海市の文化財保護審議委員、静岡県文化財保護審議会委員を務める。専門は仏教美術で、伊豆の仏像・仏画の悉皆調査を目指している。主な著作：「伊豆の平安仏～半島に花開いた仏教文化」上原美術館図録、「静岡県河津町・南禅寺の平安時代仏像群について～尊像構成から見たその性格」鹿島美術財団など。



第4回講師 池谷信之（いけや・のぶゆき）

沼津市教育委員会学芸員として長く勤務し、現在は明治大学黒曜石研究センター特任教授。先史考古学を専門とし、伊豆半島・伊豆諸島・中部地方などの遺跡において石器として出土する黒曜石の化学分析による原産地とその流通過程の研究で名高い。主な著作：「黒潮を渡った黒曜石 見高段間遺跡」新泉社、「黒曜石考古学」新泉社、「愛鷹山麓の旧石器文化」敬文舎など。



司会・進行 松本由奈（まつもと・ゆな）

伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局、池田20世紀美術館学芸員などを経て、現在は伊豆市教育委員会学芸員。